

第4次小牧市男女共同参画基本計画

ハーモニーⅣ

概要版

令和4年3月
小 牧 市



キミと一緒に、育っていきたい。
Komaki

1 計画策定の趣旨

本市においては、平成 15 年に制定した「小牧市男女共同参画条例」に基づき、平成 16 年 3 月に「小牧市男女共同参画基本計画 ハーモニーⅡ」を策定し、その後、社会情勢の変化や施策の推進状況等を踏まえ、平成 27 年に「第 3 次小牧市男女共同参画基本計画 ハーモニーⅢ」を策定し、男女共同参画の推進に向けて取り組んできました。

このたび、「第 3 次小牧市男女共同参画基本計画 ハーモニーⅢ」（平成 27 年～令和 3 年）が満了することを受け、改めて現状と課題を整理し、今後の本市における男女共同参画に関する取組を総合的かつ計画的に推進するために、「第 4 次小牧市男女共同参画基本計画 ハーモニーⅣ」を策定しました。

2 計画の期間

2022年（令和 4 年）度～2026年（令和 8 年）度の 5 年間

3 SDGs と小牧市の取組について

SDGs とは、2030 年までに「地球上の誰一人として取り残さない」持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成された国際目標です。

本市は令和 3 年 5 月に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市として、内閣府より「SDGs 未来都市」に選定されたところであり、これまで以上に SDGs の達成に向けた取組を進めてまいります。

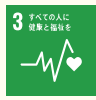


本計画では、各施策において以下の関連する目標の実現を目指していきます。
 （次頁以降において「基本目標」の各「施策の方向」ごとにアイコンがついています。）



目標 1

貧困をなくそう



目標 3

すべての人に健康と福祉を



目標 4

質の高い教育をみんなに



目標 5

ジェンダー平等を実現しよう



目標 8

働きがいも経済成長も



目標 10

人や国の不平等をなくそう



目標 11

住み続けられるまちづくりを



目標 16

平和と公正をすべての人に



目標 17

パートナーシップで目標を達成しよう

計画の基本理念・体系図

1 計画の基本理念

男女がお互いにその個性と能力を十分に発揮することによって
多様性に富んだ活力ある男女共同参画社会の実現を目指します。

本計画は、小牧市における固定的な性別役割分担意識や慣習を解消し、男女がともに対等な立場で、自らの個性や能力を発揮し、多様な生き方や考え方、価値観を認め合う社会を構築するための施策を定めたものです。また、この考え方は小牧市まちづくり推進計画第1次基本計画においても掲げた小牧市の男女共同参画推進における普遍の理念です。このような背景から、上記の理念をもとに各施策を推進していきます。

2 計画の体系図

基本目標

施策の方向

SDGsの目標

I

あらゆる分野における
女性の活躍の促進

1 政策・方針決定の場における男女共同参画の推進



2 働く場における男女平等の促進



3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現



II

男女共同参画社会の
形成に向けた意識改
革・教育の推進

1 男女共同参画意識の普及・啓発



2 子どもにとっての男女共同参画



III

安心して暮らせる
環境づくり

1 複合的に困難な状況に置かれて
いる人々への支援



2 男女共同参画の視点からの
防災の取組



3 人権についての正しい認識
と人権侵害への予防・対策



4 生涯を通じた健康づくり
のための支援



基本 目標 I

あらゆる分野における女性の活躍の促進

行政の政策・方針決定の場への男女共同参画をはじめ、家庭や地域社会等の身近なところでの男女共同参画への取組を促します。

また、職場での意識や、組織の方針決定過程への男女共同参画、雇用や待遇等の男女平等、育児や介護との両立支援の充実等、就労における男女共同参画への取組を促します。

市、市民、事業者との協働により、計画全体を推進する体制をつくります。

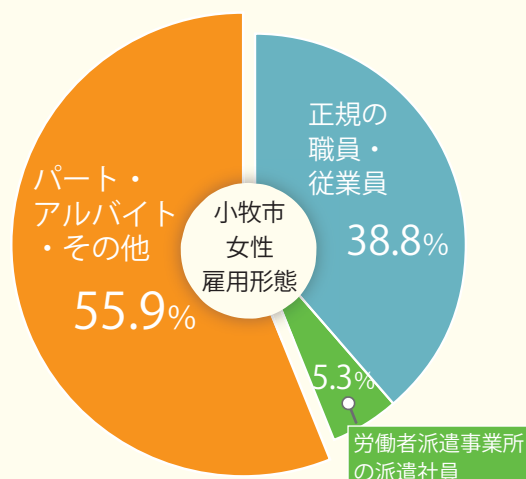
小牧市の現状と課題

女性の就労状況

女性就業者の半数以上が、パートやアルバイトなどの非正規雇用となっています。

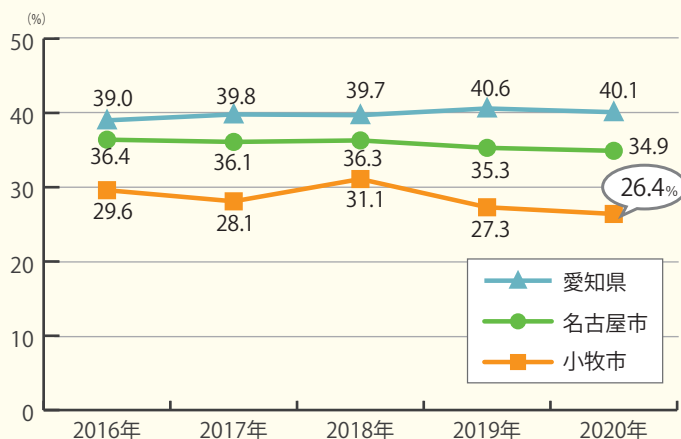
男女間の賃金格差や根強い男性中心型労働慣行、男性の家事・育児・介護にかかる時間の少なさ等により、女性は「結婚や出産を機に退職し、子どもがある程度大きくなったら家事・育児等を担いながら非正規雇用で働く」以外のキャリアプランをなかなか描きづらいのが現状です。

多様な選択肢からそれぞれに合った生き方を選択できるよう、社会全体で働き方や家事等への向き合い方を見直していかなければなりません。



出典：国勢調査（2015年）

政策・方針決定過程における女性の参画



出典：地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況

組織において少数派が3割を占めると連帯し、意思決定に影響力を持つようになるという「黄金の3割」理論というものがあります。本市の審議会等委員の女性比率をみると、2割台に留まっている年が多く、2020年は26.4%となっています。

様々な場で女性の積極的な登用を進めるとともに、女性の手を挙げづらくさせている要因を見極め、対応していく必要があります。

施策の方向と指標項目

本計画では、「基本施策」ごとに「指標項目」を設定しています。「目指す方向」に向けた推進ができるよう、毎年度継続的に確認し、年度ごとに「目標値」を設定していきます。本計画の最終年度には、達成状況を確認し、その結果を次期計画に生かします。（指標内容は、今後の取組の推進状況や評価結果を受け、変更する場合があります。）

施策の方向 1

政策・方針決定の場における男女共同参画の推進

SDGsの目標



基本施策	指標項目	基準値	目指す方向
① 審議会等での男女共同参画の推進	審議会等附属機関への女性登用率	25.82% (令和3年度)	↗
② 女性のエンパワーメントと多様な人材の確保	女性人材バンクの新規登録者数	5人 (令和2年度)	↗
③ 地域活動等における男女共同参画の促進	こまき市民交流テラスが関わった活動への参加者数	323人 (令和2年度)	↗
	ウィメンズネットこまきの加入団体数	11 (令和3年度)	↗
	男女共同参画普及員の活動実績数	11件 (令和2年度)	↗

施策の方向 2

働く場における男女平等の促進

SDGsの目標



基本施策	指標項目	基準値	目指す方向
① 男女の均等な雇用機会と待遇の確保	事業所に対する講座の実施数	2回 (令和3年度)	↗
② 市職員の男女平等の推進	課長級以上の女性の割合 (一般事務職)	10.0% (令和2年度)	↗
	職員に対する研修の実施数	1回 (令和3年度)	↗
③ 性別問わず働きやすい環境づくり	労働講座受講者数	22人 (令和2年度)	↗
④ 女性の起業家・自営業者に対する支援	働く女性に対する支援の実施数	3回 (令和3年度)	↗
⑤ 女性の育児・介護等を理由とする離職者に対する再就職支援	女性(20~50歳代)の労働力率	令和2年 国勢調査の結果 (令和4年5月公表予定)	—

施策の方向 3

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現

SDGsの目標



基本施策	指標項目	基準値	目指す方向
① ワーク・ライフ・バランスの普及と理解の促進	市役所における男性育児休業取得率	15.69% (令和2年度)	↗
② 事業所等への啓発と取組に対する支援	ファミリーフレンドリー企業の登録数	19件 (R3.11.16時点)	↗
③ 仕事と育児・介護等との両立支援策の充実	介護保険地域密着型サービス施設の整備数	26箇所 (令和2年度)	↗
	子育て支援室の一時預かりの延べ利用者数	373人 (令和2年度)	↗
	幼稚園の預かり保育の延べ人数	52,564人 (令和2年度)	↗

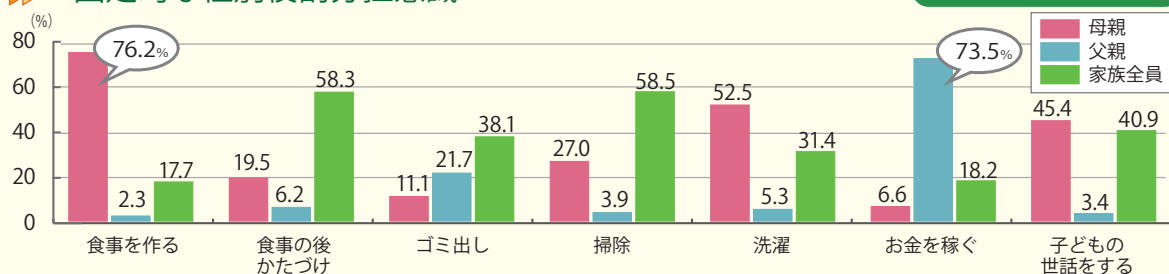
基本 目標 II

男女共同参画社会の形成に向けた 意識改革・教育の推進

男女共同参画社会への理解を促し、一人ひとりを尊重し大切にすることを意識を培う教育・学習を充実します。

小牧市の現状と課題

固定した性別役割分担意識



小・中学生に対して家事分担の理想について尋ねると、「食事を作る」ことは母親が担当、「お金を稼ぐこと」は父親が担当、といった回答がそれぞれ7割以上を占めました。また、中学生アンケートでは、性別を理由に言動を注意されたことのある女子の割合が4割を超えており、男子より15ポイント以上高くなっています。学校において、人権やジェンダー平等に関する教育を推進するとともに、教員や保護者等に対して、固定した性別役割分担意識を解消するような働きかけを検討します。

施策の 方向 1

男女共同参画意識の普及・啓発



基本施策	指標項目	基準値	目指す方向
① 男女共同参画推進のための広報・啓発活動の充実	男女共同参画に関する啓発誌の発行回数	4回 (令和2年度)	↗
② 男女共同参画に関する調査研究と情報収集・分析の強化	固定した性別役割分担に反対する男性の割合	45.4% (令和2年度)	↗
③ 男女共同参画の視点にたった学びの充実	男女共同参画に関する講座・講演の参加者数	559人 (令和2年度)	↗
	子育て支援室各種講座への男性の参加人数	125人 (令和2年度)	↗
④ 家庭・学校・地域における固定した性別役割分担意識の解消	普及員設置区数	33区 (令和3年度)	↗

施策の 方向 2

子どもにとっての男女共同参画



基本施策	指標項目	基準値	目指す方向
① 子どもと、家庭・学校・地域における男女共同参画教育の推進	将来の夢や目標を持っている子どもの割合	82.4% (令和2年度)	↗
	男女共同参画に関する講座・講演の実施中学校数	2校 (令和元年度)	↗
② 成長の段階に合わせた適切な性教育の推進	生と性のカリキュラムの実施(小学校・中学校+高校)	23校 (令和2年度)	↗
	生と性のカリキュラム(2時間)の完全実施校数	13校 (平成30年度)	↗
③ 学校教育の場からのキャリア教育の推進	職業体験実習の実施(中学校)	9校 (平成30年度)	↗

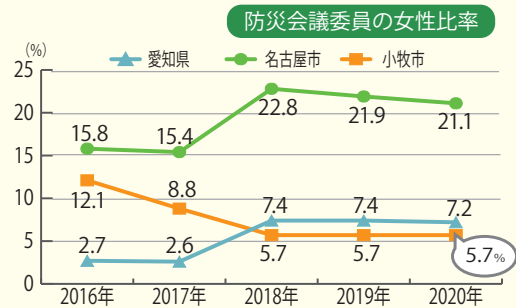
安心して暮らせる環境づくり

福祉や保健のサービスの充実等により、男女ともに健やかに暮らせる環境をつくります。
人権についての正しい認識を培い、人権意識を高めることで、人権をめぐる諸問題の解消を図ります。

小牧市の現状と課題

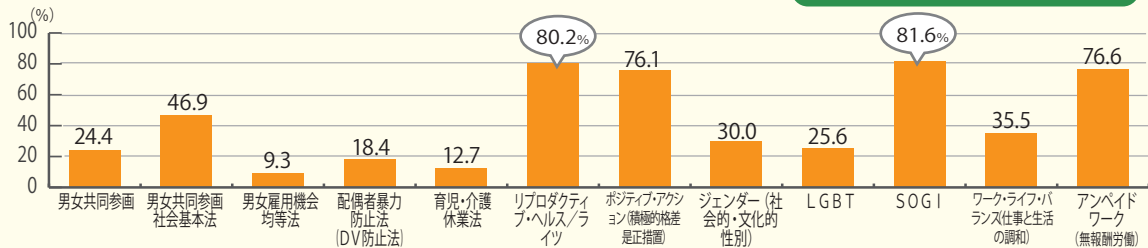
防災分野における男女共同参画

本市の防災会議委員の女性比率は、2018年以降、5.7%となっています。性別で区切られた専用スペースの設置や、生理用品等の物資のスムーズで適切な供給、無償ケア労働の性別による偏りの解消、性暴力・DV被害の防止、性的少数者に対する配慮等、多様な人材を登用することで、同質的な組織運営では見えづらい視点を掬い上げていくことが必要です。



出典：地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況

関連用語の認知度



約8割の方が「SOGI^{*1}」について「言葉も内容も知らない」と回答しています。「LGBT^{*2}」は様々な場所で聞かれるようになってきましたが、性的指向と性自認、性表現を混同している方も少なからず見受けられます。また、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ^{*3}」についても、「言葉も内容も知らない」方が同程度みられました。特に、月経のある方や妊娠をする可能性がある方等は自分の身を守るためにも知っておくべき言葉です。言葉の表面部分だけでなく、正しい知識の普及にも努めます。

*1 SOGI: 「Sexual Orientation and Gender Identity」の頭文字。性的指向/性自認のことを指す
*2 LGBT: レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー等の性的少数者の総称
*3 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ: 性と生殖に関する健康/権利

施策の 方向 1

複合的に困難な状況に置かれている人々への支援

SDGsの目標



基本施策	指標項目	基準値	目指す方向
① 高齢者や障がい者の生活の安定・自立のための支援	地域包括支援センターで受ける総合相談件数	10,916件 (令和2年度)	↗
	福祉施設から一般就労への移行者数 (累計)	16人 (令和2年度)	↗
② ひとり親家庭の生活の安定・自立のための支援	遺児手当受給者数	1,185人 (令和2年度)	→
	ひとり親相談の延べ件数	965件 (令和2年度)	↗
③ 地域における各種生活支援の充実	民生委員・児童委員の相談・支援件数	4,900件 (令和2年度)	↗
④ 外国人やその家族が安心して生活できる環境づくり	外国人相談件数	11,351件 (令和元年度)	↗

施策の方向 2

男女共同参画の視点からの防災の取組

SDGsの目標



基本施策	指標項目	基準値	目指す方向
① 防災分野への女性参画の拡大	地区防災訓練実施に伴う女性の参加率	50% (令和3年度)	→
	女性消防クラブ指導者科入校者数	9人 (令和元年度)	→
② 男女共同参画の視点からの防災活動の周知・啓発	職員及び地区の防災訓練において男女共同参画の視点に基づいた避難所運営の啓発等を実施した回数	36回 (令和2年度)	↗

施策の方向 3

人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策

SDGsの目標



基本施策	指標項目	基準値	目指す方向
① 人権教育・啓発の充実	人権教室の実施校数	3校 (小学校1・中学校2) (令和元年度)	↗
② 配偶者・パートナー間等における暴力の根絶	小牧市DV対策基本計画に基づいて進める	—	—
③ 各種ハラスメントや性暴力・ストーカー行為等の防止	さまざまな人権問題に関する周知活動実施件数	3件 (令和2年度)	↗
	小牧市児童虐待対策基本計画に基づいて進める	—	—
④ 多様な性を尊重する社会の推進	「SOGI」について、言葉も内容も知っている市民の割合	3% (令和3年度)	↗

施策の方向 4

生涯を通じた健康づくりのための支援

SDGsの目標



基本施策	指標項目	基準値	目指す方向
① ライフステージに応じた健康づくりのための支援	ウォーキングアプリ「alko」ダウンロード者数	13,986人 (令和2年度)	↗
	自分自身を好きと言える市民の割合	73.0% (令和元年度)	↗
② 女性の身体への自己決定権の尊重	子宮がん検診（集団・個別）受診率	3.4% (令和2年度)	↗
	乳がん検診（集団・個別）受診率	3.8% (令和2年度)	↗
③ 安心・安全な妊娠出産への支援	利用者支援事業相談件数	1,305件 (令和2年度)	↗

【発行】 小牧市 こども未来部 多世代交流プラザ 男女共同参画係
 【住所】 〒485-0041 愛知県小牧市小牧三丁目555番地
 【TEL】 0568-71-9842
 【FAX】 0568-71-8612